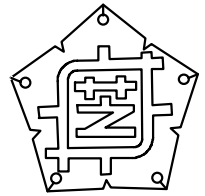


平成 14.15 年度西東京市教育委員会研究指定校

平成 14.15.16 年度文部科学省・東京都学力向上フロンティアスクール



西東京市立芝久保小学校 研究発表会

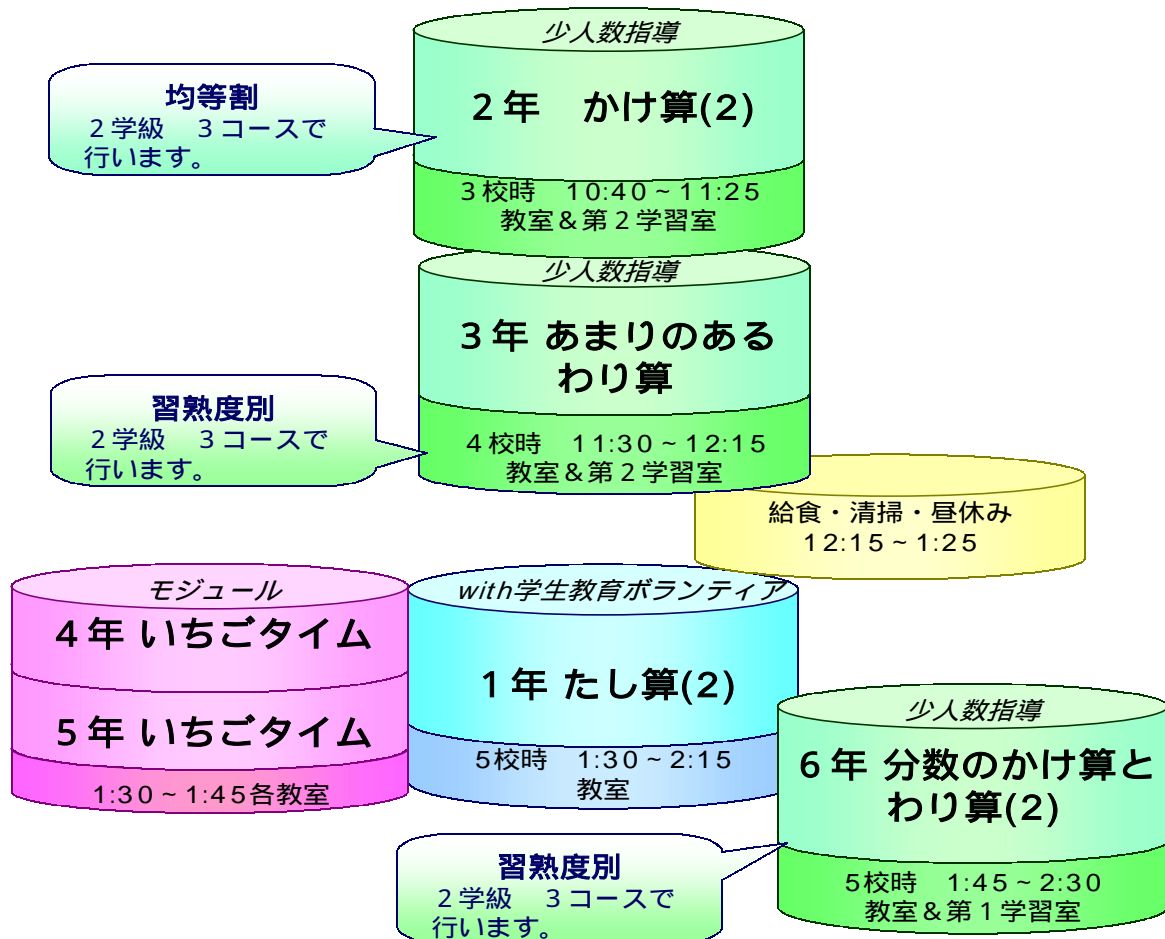
研究主題

学ぶ力を育むための個に応じた指導の工夫

学習指導案

学年順に載せてあります。

単元の指導計画と本時の要点をまとめました。



時程；本日は全日授業参観日となっております。研究授業は3校時開始です。

平成 15 年 11 月 28 日(金)

1年生 たしざん(2)

教科書P. 67~74

単元の目標 1位数と1位数をたして、和が11以上になる加法の場面と計算のしかたを理解する。
1位数と1位数との加法の計算の技能を確実に身につける。

指導計画(全11時間+6M) 評価の四観点記号 ♠関心・意欲 ♡思考 ♥表現 知識・理解

学級担任+学生教育ボランティア			
小単元	時	学習内容	評価の観点
くりあがりのあるたしざん	1	・加法が用いられる場面を理解し、繰り上がりのある加法の答えの求め方を考える。 ・10のかたまりをつくれればよいことを知る。	・9にたす計算のしかたが分かる。
	2	・繰り上がりのある加法の計算で、10のかたまりの作り方を考える。 ・10のかたまりを作るには、加数を分解すればよいことを知る。	・10のかたまりを作るために加数の3を1と2に というように分解して考えることができる。♡♥
	いちごタイム1		被加数6~9で加数を分解する加法計算ができる。♥
	3	・被加数を分解することによって10のかたまりをつくり場合について考える。	・10のかたまりが作りやすいように考えることができる。♡♥
	いちごタイム2		被加数2~5で被加数を分解する加法計算ができる。♥
	4	・8+6について計算方法をいろいろ考える。 ・10のかたまりを作る方法がいろいろあることに気づく。	・加数分解、被加数分解の考え方や5と5を合わせて10を作るという考え方など、いろいろな方法で考えることができる。♠♠
	5	・いろいろな方法でたし算の計算をする。	・繰り上がりのある計算が正しくできる。♥
いちごタイム3		加数・被加数ともに6以上の加法計算ができる。♥	
6	・加法の場面であることを理解し、立式する。	・加法の問題であることを判断できる。♠	
本時	7	・問題作りの活動を通して、加法の意味の理解を深める。 ・自分の作った問題を発表したり友達の問題を解くことができる。	・進んでいろいろな加法の問題場面を想起して、問題作りに取り組むことができる。・問題を発表したり、たし算になる理由や解き方などを自分なりに伝えることができる。♠♠
いちごタイム4		ともだちの問題を解く。♥	
カードれんしゅう	8	・繰り上がりのある加法の計算カードを作り、計算練習をする。	・自分の学習した計算をすべて書き上げてみようとする。♡♥
	いちごタイム5		計算カードを使って計算練習する。♥
	9	・答えが同じカードを集め、被加数と加数の関係を考える。	・1つの数をいろいろな数の和として考えることができる。♠♠
	10	・計算カードを使ってゲームをし、計算に習熟する。	・意欲的にゲームに取り組むことができる。♡♥
いちごタイム6		計算カードを使ってカードゲームをする。♡♥	
おけいこ	11	・既習事項の、理解を深める。 ・折り込みの計算ゲームをする。	・意欲的にゲームに取り組むことができる。♡♥

学生教育ボランティア 1年生には週2時間ずつついてもらっています。他学年は週1時間で、少人数のどのコースにつくかは学習内容により決めています。

今日の授業

5校時 13:30~14:15

6年生の授業と時差をつけました。

1年生教室 1年1・2組教室		ボランティアの動き
ねらい	問題作りの活動と、ともだちの問題を解く活動を通して、加法の意味の理解を深める。	
	繰り上がりのあるたしざんの計算のしかたを確認する。	
	10のかたまりをつくり、答えをだすことを順番に声にだしながらたしかめる。 掲示1	
	問題づくりをすることを知らせ、約束をかめる。	約束が確認できているか様子を見て声かけする。
	たしざんの問題を作ること、今日は式にあてはまる問題をつくることを確認する。 掲示2	掲示2を見るよう指示する。
	各自、自分のペースで問題づくりをする。	迷っている児童にアドバイスをしたりヒントを与えたりする。
	思い付かない場合には絵を与えるなどヒントを出す。	ヒント用紙を用意しておく。
	できた問題を発表し、みなで解いて、足算の問題になっていること、繰り上がりの計算の仕方、答えなど自分なりの言葉で説明する。	できた問題を紙に聞き書きして掲示していく。 掲示3
なるべく多くの児童が自分なりの言葉で発言できるように支援する。		
評価	進んでいるいろいろな加法の問題場面を想起して、問題づくりに取り組むことができる。問題を発表したり、たし算になる理由や解き方などを自分なりに伝える事ができる。	
	1年1・2組 学級担任	ボランティアの動き

学習活動
個に応じた指導・留意点等

単元の目標

- ・乗法が用いられる場合について知り、それを式で表したり、その式を読んだりする。
- ・乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ、それを乗法九九を構成したり計算の確かめをしたりすることに生かす。
- ・乗法九九について知り、1位数と1位数の乗法の計算が確実にできる。

指導計画(全26時間+7M)

評価の四観点記号 ♠関心・意欲 ♡思考 ♥表現 知識・理解

均等割3コース

小単元	時	学習内容	評価の観点
2の段の九九	1	・1台に2人ずつ乗っている自動車の何台分かの人数を、乗法の式で求める。 ・「九九」の意味を知る。	・2の段の九九の構成が分かる。♥
	2	・2の段の九九のカードを作り覚える。 ・2の段の九九の場面を絵で表す。 ・2の段の九九になる問題を作る。	・2の段の九九を唱えることができる。♠♥
5の段の九九	3	・一皿に5個ずつ載っているお菓子の何皿分かの個数を、乗法の式で求める。	・5の段の九九の構成が分かる。♥
	4	・5の段の九九のカードを作り覚える。 ・5の段の九九の場面を絵に表す。 ・5の段の九九の式になる問題を作る。	・5の段の九九を唱えることができる。♥
いちごタイム1			
3の段の九九	5	・身の回りの一つ分の大きさが3である物の、いくつ分かの個数を乗法の式で求める。 ・乗数が1増えると、積は3増えることを知る。	・2の段、5の段の九九を唱えることができる。 ・3の段の九九の構成が分かる。 ・3の段の九九の答えは、3ずつ大きくなっていることが理解できる。♠♥
	6	・3の段の九九のカードを作り、覚える。 ・絵や文章の問題を解決する。	・3の段の九九を唱えることができる。♠♥
いちごタイム2			
4の段の九九	7	・身の回りの一つ分の大きさが4である物の、いくつ分かの個数を、乗法の式で求める。 ・乗数が1増えると、積は4増えることを知る。	・3の段の九九を唱えることができる。♥ ・4の段の九九の構成が分かる。 ・4の段の九九の答えは、4ずつ大きくなっていることが理解できる。♠♥
	8	・4の段の九九のカードを作り、覚える。 ・4の段の九九を用いて、問題を解決する。	・4の段の九九を唱えることができる。♥
いちごタイム3			
カード遊び	9	・2、3、4、5の段の乗法の式と答えのカードで、答え取りのゲームをする。	・進んでゲームに参加し、九九の答えを速く、正確に考えようとする。♠♥
	10	・2、3、4、5の段の乗法の式と答えのカードで、カード合わせゲームをする。	・進んでゲームに参加し、九九の答えを速く、正確に考えようとする。♠♥
	11	・2、3、4、5の段の乗法の式と答えのカードで、大きさ比べや「神経衰弱」ゲームをする。	・進んでゲームに参加し、九九の答えを速く、正確に考えようとする。♠♥
6の段の九九	12	・身の回りの、一つ分の大きさが6である物の、いくつ分かの個数を乗法の式で求める。 ・6の段の九九を作る。 ・乗数が1増えると、答えは被乗数分だけ増えることを知る。	・乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増えることが理解できる。♠♥
	13	・6の段の九九の唱え方を知る。 ・カードを作り、練習して覚える。 ・6の段の九九を使って、乗法の式と答えを求める練習をする。	・6の段の九九を唱えることができる。♥
	14	・6の段のきまりを見つける。	・乗数を分解したり交換法則を利用して、多様な考え方で解決することができる。♠♠
いちごタイム4			
問題演習	15	・文章問題を解決する。 ・かけ算の計算をする。	・6の段の九九を唱えることができる。♥ ・乗法を使って問題を解決する。♠♥
	16	・答えの一の位が2、4、6、8に色塗りしてかかれている絵を見つける。 ・同じような問題を作り、解き合う。	・乗法を活用して、興味を持って解決する。♠♥
いちごタイム5			
7の段の九九	17	・身の回りの、一つ分の大きさが7である物の、いくつ分かの個数を乗法の式で求める。 ・7の段の九九を作る。 ・7×5と7×4の答えの大きさを比べ、答えは被乗数分だけ増えることを知る。	・2、3、4、5、6の段の九九を唱えることができる。♥ ・乗数の増え方と積の増え方を関係づけることができる。♠
本時	18	・7の段の九九の唱え方を知り、それを使って乗法の答えを求める。	・7の段の九九を唱えられ、適用場面に使うことができる。♥
8の段の九九	19	・一人8cmずつのテープを配るとき、何人分かの長さを乗法の式で求める。 ・8の段の九九を作り、気づいたことを発表する。	・7の段までの考え方を用いて、8の段の九九を構成できる。♠
	20	・8の段の九九の唱え方を知り、それを使って乗法の答えを求める。	・8の段の九九を唱えられ、適用場面に使うことができる。♥
いちごタイム6			
9の段の九九	21	・1チーム9人で野球するとき、チーム数の人数を乗法の式で求める。 ・9の段の九九を作り、気づいたことを発表する。	・7の段、8の段の九九を唱えることができる。♥ ・8の段までの考え方を用いて、9の段の九九を構成できる。♠
	22	・9の段の九九の唱え方を知り、それを使って乗法の答えを求める。	・9の段の九九を唱えられ、適用場面に使うことができる。♥
1の段の九九	23	・1の段の九九を構成する。	・3の段、2の段から類推して、立式できる。♠♥
	24	・1の段の九九の唱え方を知り、それを使って乗法の答えを求める。	・1に何をかけても、答えは、乗数と同じになることが理解できる。♠♥
まとめ	25	・既習事項のまとめをする。	・乗法の性質やきまりを使って、答えを求めることができる。♠

習熟度別3コース

チュリップコース		ひまわりコース		さくらコース		
小単元	時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
どんな計算になるのかな	26	・問題の仕組みを調べて、分かることや分からないことをはっきりさせる。	・問題の仕組みを図に書いて説明したり、演算を決定したりすることができる。♠	26	・問題の仕組みを調べて、分かることや分からないことをはっきりさせる。	・問題の仕組みを図に書いて説明したり、演算を決定したりすることができる。♠

今日の授業

3校時 10:30~11:25



2年1組教室
いぬコース



2年2組教室
コアラコース



第2学習室
うまコース

ねらい

7の段の九九の呼称を知り、唱える。
7の段の九九を用いて、問題作りをする。

7の段の唱え方を知る。

- ・7の段の九九表を提示し、式と答えを確かめさせる。
- ・七一が7から順に唱えるが、定着度に合わせて、「逆から」「表を見ないで」などの練習も取り入れる。

7の段の九九ゲームをする。

- ・ゲームのしかたを知らせる。
- ・数種類のゲームを通して、7の段の九九を覚えられるようにする。

7の段の九九を使って問題作りをする。

- ・7の段の九九を使う場面を想像し、問題づくりができるよう声かけする。
- ・問題づくりの条件（式指定・答え指定・絵指定・場面指定など）を決める。
- ・作った問題を発表し合う。

自己評価をする。

評価

7の段の九九の呼称を知り、唱えることができたか。
7の段の九九を使う場面が分かり、問題をつくることができたか。

2階 2年1組教室

2階 2年1組教室

2階 第2学習室



コース
名の由
来

親しみやすさを考えて、担当教諭の好きな動物を選んで名付けました。児童は均等に分かれています。習熟度で行うときは「さくら・ひまわり・チューリップ」という植物名です。

3年生 あまりのあるわり算

教科書P. 25 ~ 29

単元の目標

- 除法の意味の理解を深め、それを用いることができるようにする。
- ・余りのある除法が用いられる場面について理解し、式に表したり、式を読んだりできる。
- ・余りの意味について理解し、除数と余りの大きさについて考えることができる。
- ・除数と小がともに1位数である除法の計算が確実にできる。

指導計画(全4時間+2M)

評価の四観点記号 ♠関心・意欲 ♣思考 ♥表現 知識・理解

習熟度別	じっくりコース		しっかりコース		チャレンジコース	
	学習内容	評価の観点	学習内容	評価の観点	学習内容	評価の観点
1 本時	・分けるとき、余りが出る場合もわり算の立式ができ、答えを乗法九九を用いて求めることができる。	・既習の除法の計算のしかたをもとに、余りのある除法の計算の仕方を考えることができる。(包含除のみ)♣♠♥	・分けるとき、余りが出る場合もわり算の立式ができ、答えを乗法九九を用いて求めることができる。	・既習の除法の計算のしかたをもとに、余りのある除法の計算の仕方を考えることができる。(包含除・等分除)♠♣♥	・分けるとき、余りが出る場合もわり算の立式ができ、答えを乗法九九を用いて求めることができる。	・既習の除法の計算のしかたをもとに、余りのある除法の計算の仕方を考えることができる。(包含除・等分除) ・文章題をとき理解を確かめる。♣♠♥
2	・余りのあるわり算の除数と余りを調べ、除数と余りの関係を知る。	・除法では、余りはいつも除数より小さくなることが分かる。♣♥	・余りのあるわり算の除数と余りを調べ、除数と余りの関係を知る。	・除法では、余りはいつも除数より小さくなることが分かる。♣♥	・余りのあるわり算の除数と余りを調べ、除数と余りの関係を知る。	・除法では、余りはいつも除数より小さくなることが分かる。♣♥
いちごタイム1			計算練習♥			
3	・余りのあるわり算の問題を解き、除法についての理解を深める。	・除法の具体的な場面と結びつけながら、余りを正しく処理することができる。♣♥	・余りのあるわり算の問題を解き、除法についての理解を深める。	・除法の具体的な場面と結びつけながら、余りを正しく処理することができる。 ・余りのあるわり算の問題づくりをする。♣♥	・余りのあるわり算の問題を解き、除法についての理解を深める。	・除法の具体的な場面と結びつけながら、余りを正しく処理することができる。 ・余りのあるわり算の問題をつくり、互いに解き合う。♣♥
4	・既習事項のまとめをする。	・色々な問題を通して、余りのあるわり算を理解する。♥	・既習事項のまとめをする。	・色々な問題を通して、余りのあるわり算を理解する。♥	・既習事項のまとめをする。	・色々な問題を通して、余りのあるわり算を理解する。♥
いちごタイム2			計算練習(文章題)♥			
じっくりコース		しっかりコース		チャレンジコース		

3年2組
じっくりコース

3年1組
しっかりコース

第2学習室
チャレンジコース

ねらい

余りのあるわり算の意味と計算のしかたを理解する。

問題を読み、立式する。(包含除)

* どの数字を使うか、何算になるかを考え、発表し合い、全員で確認する。
以前学習したわり算と違うところを考え、割り切れないことを確認する。
・式を書く $23 \div 4$

余りのあるわり算 $23 \div 4$ の計算のしかたを考える。

* どうしたら答えが求められるか考え、ノートに書く。
・タイルを分ける。 ・絵に書いて考える。 ・かけ算を使う。 ・穴あき九九を使う。
・わり算と引き算を使う。 …など。

答えや計算のしかたを発表する。

・5ふくろで3こあまる。・6ふくろはできない。・「わりきれる」「わりきれない」意味を確かめる。・答えの書き方を確かめる。
* 自分の考えと友達のを比べながら聞くようにする。

わかったことをまとめる。

* 今日の学習でわかったことを発表する。
・余りのあるわり算であること。
・わり切れない場合も、九九を使い、その後引き算で答えを出すこと。

包含除の立式、計算の練習をする。

・問題を読み、立式し、計算の仕方を考える。
* 具体物を操作し、余りのあるわり算の意味が分かり、計算が確実にできるようにする。

等分除の立式、計算の練習をする。

・問題を読み、立式し、計算の仕方を考える。
* 分け方は違うが、等分除の場合もわり算を使って答えを求められることが分かる。

包含除・等分除の立式、計算の練習をする。

・問題を読み、立式し、計算の仕方を考える。
・包含除、等分除の文章題をつくる。

自己評価カードに記入

評価

余りのあるわり算の意味と計算のしかたが理解できたか。

2階 3年2組

2階 3年1組

2階 第2学習室

4年生 いちごタイム

年間指導計画		9月	2けたでわるわり算の練習 5 M
1 M (モジュール) = 15分 国語とほぼ同時間配当		10月	2けたでわるわり算の練習、 面積の計算 5 M
内 容		11月	面積の計算・ 小数のたし算数・ひき算 5 M
4月	3年生の復習 3 M	12月	概数練習問題 5 M
5月	電卓を使って計算しよう 2 M 大きな数 3 M	1月	折れ線グラフを書こう 式と計算問題 6 M
6月	計算のしかた 3 M 円や球を見つけよう 3 M	2月	式と計算問題 分数 6 M
7月	1けたでわるわり算の練習、角度を はかる 3 M	3月	ともなって変わる量練習問題 5 M

今日のいちごタイム

13:30 ~ 13:45

1組教室

2組教室

ねらい

小数のたし算・ひき算の筆算が確実にできるようにする。

筆算の書き方、手順について確かめる。

今までの学習をふりかえり、小数の筆算について思い起こさせる。

プリントの問題を解く。

数種類用意して先に進めるようにし、解答用紙で答え合わせをしたら次のプリントに移るよう指示する。

まちがったところはやりなおす。

机間巡視し、つまづいている児童に個別指導する。

プリントを提出する。

評価

小数の筆算方法に習熟できたか。♥表現・処理 知識・理解

3階 4年生教室

学習活動

個に応じた指導・留意点等

5年生 いちごタイム

年間指導計画		9月	小数のかけ算 2 M・小数のわり算 3 M
1 M (モジュール) = 15分 国語とほぼ同時間配当		10月	小数のわり算 3 M・図形の角 3 M
内 容		11月	図形の面積 5 M
4月	4年の復習 5 M	12月	分数 2 M・2学期の復習 2 M
5月	小数と整数 3 M・小数のかけ算 2 M	1月	分数 3 M・円 2 M
6月	小数のかけ算 6 M	2月	割合とグラフ 6 M
7月	いろいろな四角形 2 M・1学期の復習 2 M	3月	5年の復習 4 M

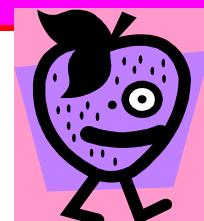
今日のいちごタイム

13:30 ~ 13:45

1組教室

2組教室

ねらい	図形の面積の求め方に習熟する。		
	面積の求め方を復習する。		
	今までの学習をもとに考えるとよいことを確かめる。		
	算数ドリル P.23の問題を解く。		
	進み具合をチェックし、個別に指導する。		
	答え合わせをする。		
評価	面積の求め方に習熟できたか。	表現・処理	知識・理解
	3階 5年生教室		



単元の目標

分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。

- ・乗数や除数が整数である乗法及び除法の意味について理解すること。
- ・分数の乗法及び除法の計算のしかたを考え、それらの計算ができること。

指導計画(全12時間+6M)

評価の四観点記号 ♡関心・意欲 ♡思考 ♡表現 知識・理解

緑コース		青コース		赤コース		
時	学習内容	評価の観点	学習内容	評価の観点	学習内容	評価の観点
1	分数をかける意味と立式のしかたを理解する。	分数の乗法の立式の根拠について、ことばの式や図を手がかりに進んで説明しようとする。♡♡	分数をかける意味と立式のしかたを理解する。	分数の乗法の立式の根拠について、ことばの式や図を手がかりに進んで説明しようとする。♡♡	分数をかける意味と立式のしかたを理解する。	分数の乗法の立式の根拠について、ことばの式や図を手がかりに進んで説明しようとする。♡♡
2	(分数)×(分数)の計算のしかたを理解する。	分数の乗法の計算のしかたが分かる。	(分数)×(分数)の計算のしかたを理解する。	分数の乗法の計算のしかたが分かる。	(分数)×(分数)の計算のしかた、計算の途中での約分のしかたを理解する。	分数の乗法の計算のしかたがわかり、途中で約分しながらできる。
いちごタイム1		(分数)×(分数)の計算ができる。♡				
3	(分数)×(分数)の計算で、途中での約分のしかたを理解する。	(分数)×(分数)の計算を途中で約分しながらできる。♡	(分数)×(分数)の計算で、途中での約分のしかたを理解する。	(分数)×(分数)の計算を途中で約分しながらできる。♡	(整数)×(分数)、(分数)×(整数)の計算と、(分数)×(分数)の計算の関係を理解する。	既習の計算のしかたをもとに考えることができる。♡♡
4	(整数)×(分数)、(分数)×(整数)の計算と、(分数)×(分数)の計算の関係を理解する。	既習の計算のしかたをもとに考えることができる。♡♡	(整数)×(分数)、(分数)×(整数)の計算と、(分数)×(分数)の計算の関係を理解する。	既習の計算のしかたをもとに考えることができる。♡♡	分数でわる意味と立式のしかたを理解する。	分数の除法の立式の根拠について、ことばの式や図を手がかりに進んで説明しようとする。♡♡
いちごタイム2		(分数)×(分数)の計算を途中で約分しながらできる。♡				
5	分数でわる意味と立式のしかたを理解する。	分数の除法の立式の根拠について、ことばの式や図を手がかりに進んで説明しようとする。♡♡	分数でわる意味と立式のしかたを理解する。	分数の除法の立式の根拠について、ことばの式や図を手がかりに進んで説明しようとする。♡♡	(分数)÷(分数)の計算のしかたを考える。	分数の除法の計算方法について、進んで理解しようとする。♡♡
6	(分数)÷(分数)の計算のしかたを考える。	分数の除法の計算方法について、進んで理解しようとする。♡♡	(分数)÷(分数)の計算のしかたを考える。	分数の除法の計算方法について、進んで理解しようとする。♡♡	(分数)÷(分数)の計算のしかた、計算の途中で約分のしかたを理解する。	分数の除法の計算のしかたがわかり、途中で約分しながらできる。
7	(分数)÷(分数)の計算のしかたを理解する。	分数の除法の計算のしかたが分かる。	(分数)÷(分数)の計算のしかたを理解する。	分数の除法の計算のしかたが分かる。	分数の乗法や除法を適用する問題と、その数量関係をとらえて演算決定し、問題解決できる。	数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができる。♡♡
いちごタイム3		(分数)÷(分数)の計算ができる。♡				
8	(分数)÷(分数)の計算で、計算の途中で約分のしかたを理解する。	(分数)÷(分数)の計算を途中で約分しながらできる。♡	(分数)÷(分数)の計算で、計算の途中で約分のしかたを理解する。	(分数)÷(分数)の計算を途中で約分しながらできる。♡	分数の乗法や除法を適用する問題で、その数量関係をとらえて演算決定し、問題解決できる。	数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができる。♡♡
いちごタイム4		(分数)÷(分数)の計算を途中で約分しながらできる。♡				
9 本時	分数の除法を適用する問題で、その数量の関係をとらえて演算決定し、問題解決できる。	数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができる。♡♡	分数の乗法や除法を適用する問題で、その数量の関係をとらえて演算決定し、問題解決できる。	数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができる。♡♡	分数の乗法や除法を適用する問題作りを通して、分数の乗法や除法の使われる場面についての理解を深める。	条件をもとに、進んで作問しようとする。♡♡♡
10	分数の乗法や除法を適用する問題で、その数量の関係をとらえて演算決定し、問題解決できる。	数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができる。♡♡	分数の乗法や除法を適用する問題で、その数量の関係をとらえて演算決定し、問題解決できる。	数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができる。♡♡	既習事項のまとめをする。	
いちごタイム5		(整数)÷(分数)の計算ができる。♡				
11	分数の乗法や除法を適用する問題作りを通して、分数の乗法や除法の使われる場面についての理解を深める。	原題をもとに、進んで作問しようとする。♡♡♡	分数の乗法や除法を適用する問題作りを通して、分数の乗法や除法の使われる場面についての理解を深める。	条件をもとに、進んで作問しようとする。♡♡♡	既習事項をもとに、条件にあった(分数)×(分数)計算を考える。	既習事項をもとに、根拠をもって、いろいろな分数の計算をつくらうとする。♡♡♡
いちごタイム6		(分数)×(分数)・(分数)÷(分数)の計算ができる。♡				
12	既習事項のまとめをする。		既習事項のまとめをする。既習事項をもとに、条件にあった(分数)×(分数)計算を考える。	既習事項をもとに、根拠をもって、いろいろな分数の計算をつくらうとする。♡♡♡	整数・小数・分数の四則計算を使った問題作りをし、できた問題をお互いに行ってみる。	興味や関心をもって、問題に取り組もうとする。♡♡♡
緑コース		青コース		赤コース		

今日の授業

5校時 13:45~14:30

6年2組教室
緑コース

6年1組教室
青コース

第1学習室
赤コース

ねらい

分数の除法を適用する問題で、その数量の関係をとらえて正しく立式し、問題解決できる。

分数の乗法や除法を適用する問題で、その数量の関係をとらえて正しく立式し、問題解決できる。

分数の乗法や除法を適用する問題作りを通して、分数の乗法や除法の使われる場面についての理解を深める。

問題文を読み、課題をつかむ。

絵図の中の問題から、課題をつかむ。

式から問題文を作る時に、乗法と除法の条件を確かめながら、作問の仕方を考える。

長さが $3/4$ mで、重さが $9/5$ kgの鉄の棒があります。同じ鉄の棒1mの重さは何kgでしょうか。

1m²の畑に $6/7$ lの水をまくとすると、 $2/3$ m²の畑には何lの水がいりますか。

(式) $4/5 \times 2/3$
(条件の足りない問題文)
4/5kgの $2/3$ mは何kg?
(式) $4/5 \div 2/3$
(誤った構造で、条件も足りない問題文)
4/5kgの $2/3$ は何m?

解決の方法を考え、ノートに書く。

解決の見通しを立てる。

問題の構造と、問題の中の数量関係を正しくとらえられるようにする。

数量の関係を正しくとらえるために、数直線に表したり、問題の中の数値を簡単にしたりして問題の構造をつかめるようにする。

分かっていることや、求めるものは何かを、しっかりととらえられるようにする。

提示された式と条件から、問題文をつくり、さらに自分で解いてみる。

自分の考えを発表し合い、検討する。

解決の方法を考え、ノートに書く。

例： $3/5 \times 1/2$
 $3/5 \div 1/2$
(速さの場面)
(畑の水まき場面)
(ペンキぬりの場面)
つくった問題の図をかく、式をたてる、問題を解くということを通して、見直すよう指導する。

立式の根拠について説明できるよう、数直線などを提示する。

数量の関係を正しく捉えられない児童にはヒントカードを用いて考えるように促し、問題の構造をつかめるようにする。

つくった問題を黒板に貼って発表する。

プリントの問題を解く。

難易度の違うプリントを3種類用意し、児童が自分で選んで取り組めるようにする。

自分の考えを発表し合い、検討する。

立式の根拠について説明できるよう、数直線などを提示する。

プリントの問題を解く。

難易度の違うプリントを3種類用意し、児童が自分で選んで取り組めるようにする。

次時は、つくった問題をお互いに解きあうことを伝える。

自己評価カードに記入

評価

数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができたか。

数量の関係をとらえて、立式し、問題解決することができたか。

問題づくりを通して、分数の乗法や除法の使われる場面についての理解を深められたか。

3階 6年2組教室

3階 6年1組教室

2階 第1学習室